

NGO 法人“自立”計画提案

NGO 法人“自立”はモンゴル国内での①食器安全性の問題、健康被害の一つの原因になっている食器の安全性、②子供の教育、③地方の女性の社会参加向上、自立スキルアップなどに貢献すること目的で設立。

計画は下記の通りです。

1. 食器の安全性向上

現在、モンゴルの郊外、地方、遊牧民の間で、食器の素材などについて正しい知識なく、工業、建築用のプラスチックコンテナ、材料袋などを家庭用に利用したり、個人間の売買食料品用の包装、入れ物として使うことが多くあります。田舎ではほぼ各家庭が安全ではないプラスチックお玉を熱いスープ、ミルクティーなど熱いものに日々使っている。これが一つ健康被害が増える原因であり、遊牧民のガン患者が一気に増加傾向である統計が出ていますが、地域社会に向けて何もしていない状況であります。地域ことで調査してみると田舎では、エコで安全な食器を作っているところがなく、食器不足しているので遊牧民の人々が手に入る入れ物を家庭用の食器、入れ物、包装材として使っていることが分かりました。

この解決に少しでも貢献するために、国内で、安全で健康に被害がないエコ食器を現地の材料を使って、生産の可能性を調査して現実に向けた計画に日本の技術、協力などをお願いしたいです。

2. 子供の教育向上、地域の女性自立、社会参加向上

モンゴルで子供と女性への家庭暴力が増加して、子供たちが必要な教育を受けられない、学校へ行けないなど問題が多くあります。法律強化などの実施がありますが、残念ながら、実際にその人々の生活までにたどり着いてないのは現実であることを長年の調査で判明しています。

この NGO 法人設立者であるビャンバーは40年以上、教育者として勤めた経験、自分の長年の研究を生かして、パンデミックで悪化した状況の中にいる人々にお手伝いして自分の健康の基礎を自分で守れる、必要な教育、知識を得て、自立してほしいと思ひ、地方のモンゴル人の健康、子供の教育向上に貢献する計画を一部立てています。一つ目のプロジェクトはモンゴルの西にある離れた地域で、人が多く住んでいるザブハン市、ウランバートル市のバヤンズルフ区で1年間（予定：2022年の8月から2023年の8月まで）下記の計画を実施。

- 地域の女性への法律、人権などの知識、コミュニケーションスキルアップのための教育、トレーニングを実施。
- 地方で、教育が遅れている子供たちへの基本教育を得るための支援
- 健康に被害がない安全で、手に入りやすく、食器の普及、生産可能性の調査、研究、実現開始
- 地方での教育者及び親が、モンゴル語での子供の教育、子供の成長、心理について知識が貧しく、情報もモンゴル語であまりないので、子供が学校及び家族から逃げる、学校が嫌いになる、理解不足で学校及び家庭での暴力などが頻繁に起こり社会問題になっています。この状況を少しでも改善するのに貢献するため、学校の先生、若い親向けに子供の年齢別の特徴、成長に合わせた環境の構成、話し方、子供の成長発達について **HANDBOOK** シリーズ（2本）の作成、トレーニング実施したいと思い準備を進めています。

一つ目の“あなたの子供”という本で、小学生の心理、興味、体の成長の特徴に合わせていかにより良く教育するかについて、若い親、学校の先生方のハンドブックです。

二つ目は、“一緒に座って話しましょう”という本で、モンゴルの伝統を引き継ぎながら現在の教育方法、ソフトスキル発展などの方法を併せながら子供の成長をより良く理解して成長を見守りながら教育する方法について本になります。予定として、モンゴルの西に都心から遠く離れている、ザブハン市の5学校、25村の学校、ビャンズルフ地区の20学校、幼稚園にてハンドブックとして合計5000冊を配布し、田舎の町と村を回り、現地でのトレーニングも実施予定。

この **NGO** の最初の計画を実施にあたってはおおよそ下記の費用がかかる見積りになっており、スポンサー、募金活動などを行う必要があります。

- 1) 設立費用 — \$ 12,000
- 2) 年間運用、人件費 — \$ 46,000
- 3) “あなたの子供”
本の作成、配布費用 — \$ 50,000 (5000冊×\$10)
- 4) “一緒に座って話しましょう”
本の作成、配布費用 — \$ 50,000 (5000冊×\$10)

概算総費用 \$ 158,000